

未来に向けた持続可能な公共交通

人口減少や少子高齢化、交通事業者の運転手不足など地域の公共交通を取り巻く環境は、厳しさを増しています。交通弱者の移動手段の確保や、利便性の向上など持続可能な交通体系を構築するために、計画を策定しました。

計画の目的

人口の減少や高齢化社会を見据えて、地域にとってより望ましい公共交通の在り方を検討し、市民にとって利用しやすく持続可能な公共交通体系を実現するため、基本的な方針などをまとめました。

この計画を基に、令和5年度から令和9年度までの5年間で、地域公共交通の各種事業に取り組みでいきます。

地域公共交通を取り巻く課題

- 高齢化により増加する交通弱者の移動手段の確保
- デマンド交通やコミュニティバスなどの既存公共交通の利便性向上
- 財政負担の増大や、運転手不足などの状況下での公共交通の持続性の確保
- 公共交通利用意識の醸成および

び利用促進に向けた効果的な情報発信

- 移住定住促進や交流人口拡大などに向けた公共交通の構築

3つの基本方針

高齢者を中心に捉えた誰もが利用しやすい公共交通の実現

これまでの公共交通網を有効に活用し、分かりやすく利便性の高い公共交通ネットワークをつくりまします。

将来にわたり持続可能な地域一体となった公共交通の実現

少子高齢化により重要性が増す公共交通を将来にわたり維持し続けるため、地域住民・交通事業者・行政などが協働して、利用促進、受益者負担の適正化などに取り組みまします。

まちづくりと連携した魅力のある公共交通の実現

市のまちづくりに関係する計画と連携した、魅力的な交通環境をつくりまします。

5つの施策について検討・実施

広域交通ネットワークの充実
鉄道事業者への要望活動の実施や、高速バス停留所の環境改善などを検討します。

路線バスの活性化・維持

電車の発着時間に合わせたバス時刻の調整などを検討します。
地域内交通の利便性向上

デマンド交通のエリア^{また}跨ぎ運行などのサービス拡充や、コミュニティバスのルート、運行

時刻の見直しなどを検討します。
公共交通の総合的情報などの提供

電車やバスなどの総合的な公共交通マップの作成や、ホームページなどで情報を発信します。

利用促進策の実施

公共交通を利用した外出事例の作成や、バスの乗り方教室の実施を検討します。

公表しています

この計画の全文は市ホームページのほか、市役所で見ることができます。

問い合わせ先

企画政策課企画調整班

☎ 62・5307